

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和07年10月21日

計画の名称	地域の活力を育む交通・物流拠点へのアクセス道路の整備（交通拠点連携集中支援）																					
計画の期間	平成30年度～平成34年度（5年間）										重点配分対象の該当		○									
交付対象	富山県																					
計画の目標	交通・物流拠点連携を図り、物流の効率化など生産性向上に資する空港、港湾等へのアクセス道路について、国庫債務負担行為を活用しながら計画的かつ集中的な整備を行う。																					
全体事業費（百万円）		合計（A＋B＋C＋D）		2,611		A	2,611		B	0		C	0		D	0		効果促進事業費の割合 C / （A＋B＋C＋D）		0		%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30当初	H32末	H34末
1	走りやすい道路の延長を1660kmから1670kmへ増加させる。 道路の実延長（国県道合計）のうち、車道幅員5.5m以上改良済み、かつ道路が混雑することなく円滑に走行できる延長(km)を算出する。 （走りやすい道路の延長km）＝（車道幅員5.5m改良済みかつ混雑度1.0以下の道路延長）	1660km	1667km	1670km

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
道路事業	A01-001	道路	一般	富山県	直接	富山県	国道	改築	（国）4 1 5 号 富山東 バイパス	バイパス整備 1.80km	富山市	■	■	■	■		1,651		-	
		H31～32																		
	A01-002	街路	一般	富山県	直接	富山県	S街路	改築	（都）東岩瀬線	現道拡幅 0.50km	富山市	■	■	■	■	■	960		-	
		H32～34																		
											小計						2,611			
											合計						2,611			

事後評価	
○ 事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
富山県土木部道路課	令和7年10月
	公表の方法
	富山県のホームページ
○ 事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	県内の道路整備が順調に進捗した結果、定量的指標に反映されたと考えられる。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○ 特記事項（今後の方針等）	
引き続き、道路整備を行い交通アクセスの向上に努める。	

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1			
	最 終 目標値	1670km	道路整備の着実な進捗により、目標を上回る結果となった。
	最 終 実績値	1975km	